

第10回 UEJ「大学開放研究会」のお知らせ

日時：平成30年7月7日（土）13：30～16：35
於・龍谷大学 深草キャンパス紫光館4階401講義室

第一部 13：30～15：00

講演：「地域の教育活動を活性化させる大学開放の役割
——生涯学習プラットフォームとして担うもの——」

講師：藤田 公仁子 司会：香川 正弘

要旨：現在の生涯学習政策は、「学校と地域の協働」、「ICTを活用した生涯学習」、「生涯学習の成果の活用」などに踏み込み、学習した成果が適切に評価され、社会的活用へとつなげられる生涯学習整備の基盤となるものの存在が重要であるとされています。その中で、「生涯学習プラットフォーム」が、地域の教育活動の活性化を進めていく上で、どのような機能を有し、展開していくことが望ましい姿であるのかを、大学開放セクションとして明確にしていくことが求められています。

地方国立大学における生涯学習系センターの専任教員として進めている学習プログラム開発及びシステムづくり、自己開発プランニングの方向性、ICTの活用を進めてきた地域の状況、将来的なシステム開発の方向性を紹介します。

知の開放としての生涯学習機会を提供してきた大学は、「学びの活用」についての「生涯学習プラットフォーム」が、その一端を担うことも視野に入れつつ、新しい大学開放セクションの将来像について、どのような方向に進むのかを探る時間にできればと考えます。

第二部 15：15～16：35

共同討議 司会：河村 能夫

議題

会費：1,000円（資料代等含む） <定員30名>

申込：原則として「メールにて」①お名前 ②ご職業 ③ご連絡先 ④共同討議のテーマをご記載の上、一週間前（6/30）までに事務局へお申し込みください。

【事務局】 shigeto.j.k@gmail.com

講師紹介：藤田 公仁子（富山大学 地域連携生涯学習部門 教授）

1990年、北海道大学大学院博士課程在学中に岩手大学に就職。2009年から富山大学に勤務。多様な公開講座を地域住民への「学習機会の提供」として企画実施するとともに、「大学開放」事業を積極的に図り、さらに行政・企業・地域の社会組織・NPOなどと連携して、「地域生涯学習」を推進している。家庭・職場・地域での人々の生活（食生活を含む）の営みと学習活動の関わりや、社会教育施設・行政の果たすべき役割等について、研究テーマを設定している。